

コミュニケーションに 配慮を必要とする人へ のスイッチ・コム 支援勉強会

主催：神奈川重症心身障害児者を守る会
NPO 法人 フュージョンコムかながわ
・県肢体不自由児協会

平成28年1月23日(土)

10:00～16:00 (受付 9:30～)

会場：神奈川県社会福祉会館

4階 第3・4研修室

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

講師：特定非営利活動法人 地域ケアさぼーと研究所理事 下川 和洋 様
製作講座講師： おおきなき 代表 相澤 純一 様

【趣 旨】

幼児段階であれば一層、泣いて訴えるお子たちの意思が読み取れず、立ち往生してしまうことがありますね。障害をもっていれば、その動きも理解できません。学齢期においても、児童生徒の意思を読みとったり、確認することはとても難しいですね。大人であっても同じですね。

ご本人の意思表示をどのように表わすことができるように差し上げたらよいか。ご本人なりの理由・理窟があるのでしょうが、指導する側、介護する側の私に知識がありません。

指導者と子どもとのコミュニケーションの在り方に視点を当ててみましょう。トイ・スイッチでお子たちの興味を誘って、楽しく係ってみませんか。

コミュニケーションの困難な方にも、いろいろな機器が考えられてきています。親指と人差し指とを合わせて力を入れると筋肉のゆがみを感知（ピエゾセンサスイッチ）してナースコールができたり、視線を入力することで意思伝達のできる装置「マイトビー」があったりと、コミュニケーションを支援する機器の発展が目覚ましい限りです。

「マイトビー」等をもって、在宅の方のところで実践されている講師から、いろいろ学びたいと思います。関心のある方は、奮ってご参加ください。

また、簡単なスイッチ・トイの作製によって、楽しいコミュニケーションが広がるかも知れません。

(10:00～10:10) 主催者挨拶

第1部 (10:10～12:00) 4F第3・4研修室

講義演習「介護者の感度アップがコミュニケーションを豊かにする」

講師：下川 和洋 様

(休憩 12:00～13:00)

第2部 (13:00～15:30) 4F第3・4 研修室

演習「コミュニケーション機器を体験しよう」(デモ解説あり)

①～④は会場(第1・2研修室)で全体説明終了後に自由に回って各種機器を体験してください。

体験① 視線入力意思伝達装置「マイトビー」の実演……………(株)クレアクト 馬越賢二様

体験② OAK(キネクト)の活用……………吉田 光伸 様

体験③ スイッチで動くおもちゃの展示……………相澤 純一 様

体験 ④ レッツチャットや iPad 等の活用 …………… 下川 和洋 様

(14:00～15:00 iPad や iPhone を用いた教材作り：iPad や iPhone の無料で使えるアプリ Bitsboard を使って、その場で教材作りを行います。参加希望の方は、ご自分の iPad や iPhone に Bitsboard を事前にインストールして当日お持ちください。)

⑤スイッチ・玩具製作講座「スイッチでおもちゃを動かそう」 相澤純一様、新田和久様

⑤は定員15名の予約制(先着順)で、別途材料費をいただきます。内容は、作成するスイッチと玩具を選んでいただき、簡単なスイッチとアダプターを製作し(はんだ付け等の細かい作業になります)、おもちゃなどをスイッチで動かします。でき上がったスイッチ(ミニタッパースイッチ等を予定)は、お持ち帰りができます。

15名を前半(13:00～14:00)、後半(14:15～15:15)の2班編成で実施します。

会場は、2F 第1会議室になります。色々なスイッチの展示もあります。

第3部 (15:30～15:50) 講義(まとめ)と質疑応答 4階 第3・4研修室

(16:00) 閉会

- 参加費：A： 500円(資料代)(当日受付にて)
B：1000円(体験⑤の玩具・スイッチ製作参加者、材料費を含む)
定員：特にありません(ただし体験⑤のスイッチ作成は先着15名です。)
- 申込締切り：平成28年1月18日(月)

○ 講師紹介

<講演・実技指導> 下川和洋先生(NPO法人地域ケアさぽーと研究所)(女子栄養大学非常勤講師)
都立特別支援学校で長年、訪問教育や医療的ケアなどが必要な障害の重い子どもの教育に携わり、1999年1月に開設したホームページ「医療的ケアが必要な子どもと学校教育」は現在までに30万以上のアクセスとなり、ホームページやFacebookや研修会等で情報発信しています。また、平成24年から実施の国の「喀痰吸引等制度」の誕生に、大きな働きをされました。

現在は、特別支援学校や大学、児童発達支援事業所や生活介護事業所の非常勤、さらにNPOでは「訪問カレッジ」という事業で、通所が難しい在宅・施設で過ごす障害の重い方の生涯学習保障として、「伝の心」「オペレートナビ」「マイトビー」など各種意思伝達装置を活用したコミュニケーション支援を進めています。

<製作講座担当> 相澤純一先生(おおきなき 代表)

都立特別支援学校に長く勤められ、現在、『おもちゃと絵本の部屋』を週1回開室し、共に生きることを考えるための講座や特別支援学校卒業後の生涯学習の支援等に取り組んでいます。頂いたお手紙には、「私は、子ども達にどう向かい合っていくか、マジカルトイボックスから多くのことを学んできました。退職してからもスイッチ教材は、子どもたちの可能性を引き出す大事な道具として手放せません。制作を続けています。」と述べられています。



※「スイッチ・コム支援勉強会」は、神奈川心身障害児福祉基金財団の支援を頂いて実施します。

- ・JR横浜駅西口ダイヤモンド地下街に入り直進
- ・一番突き当たり左奥の階段を上る(南12出口)
- ・ホテルキャメロットジャパンを左手に直進
- ・鶴屋町交差点歩道橋を渡り、沢渡公園手前を左折。

問合わせ：担当：成田、山田、松田

NPO法人 フェージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会
〒. 221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2